初心者水泳指導の実際

より良い・分かり易い指導を目指して



兵庫県立東はりま青少年館 主任 小川 芳典

フリップターンの指導

なぜ今回の発表をするのか?

- クロール(今は背泳ぎも)ではいわゆる「でんぐり返り」のターンが広く普及している。
- 「でんぐり返り」のターンは習得が難しいと考えられている。(実際出来ない人には難しい)
- このターンを指導する場合の教本等での記述はどう なっているのか?
- このターンをより簡単に習得する方法が無いか?
- 指導のアイデア等を提示・共有・議論等を行うことにより、より良い指導法を考える一助とする。

フリップターンの種類

種類

まわり方

縦→ひねる

斜めまわり

縦まわり

横まわり

壁との距離・形

壁に足を 投げ出す 足を コンパクト に曲げて 回る 回るときに 足を 閉じて 開いて

2004 2/22 ISRS in Tokyo

フリップターンの局面

- 1壁に向かって泳ぐ(泳速のコントロール)
- **2** きっかけ(腕・キックでコントロール)
- 3回る (途中の姿勢)
- 4壁に足をつく(蹴る姿勢)
- 5壁を蹴る(泳ぐ姿勢)
- 6泳ぎ出す (泳速のコントロール)

近年の水泳の指導書による練習方法には

- ☆ ターンの前に泳ぎ (スピード) をコントロールして。 前(壁等)を見て
- ☆壁に足を付くときにひねる。
- ☆ その場回り 後ろ回り 横回り

- ○回転の途中で膝を曲げる
- ○鼻から息を出す。

大事なところが(細かな点)抜けている。

わかりにくい。

簡単なターンとは

- 縦 + ひねり ●斜めまわり(横) ●縦まわり
- 足を伸ばした状態→足を曲げて

ターンも昔に比べると様変わりをした。がっ未だに様々なターンが見られる。 効率の悪いターン(足を伸ばして壁につきその後曲げる等)や難しいターン は行わずに出来るだけ分かり易く出来る方法を提言できないか?

初心者·初級者

に簡単な

ターンは?

■縦まわり

(壁を蹴った後に身体をひねる)

(ロケットターン)

進め方①

基本

鼻から息が出せる事

- 1壁を蹴る練習①(後半練習)
 - 1背面で壁を蹴って伸びる
 - 2 背面で壁を蹴って伸びながら俯せに移動
 - 3壁をける(俯せ)
- 2陸上での「でんぐり返り」(前半練習)

頭の付く位置/背中の丸め方

3壁を蹴る練習②

壁を蹴って両手(ひとかき)

4壁を蹴る練習③

壁を蹴って両手 + ドルフィン

進め方②

5壁を蹴る練習④

壁を蹴って両手+ドルフィン+頭の振り(回る練習)

6泳ぎながら練習

壁を蹴る①~④を泳ぎ+に変更

7泳いで回る(まっすぐ回って立つ)

壁は使わず 5m ライン等で回る

8壁に向かって泳ぐ(スピードのコントロール)

壁に手をつく(距離を測る)

壁の手前で回る

9壁に向かって回り足を付く1+9にてターン完成

出来ないことがあれば無理して 進める必要は無い。 戻ってみること。

出来なくても 何も困らない。 出来ないのは 指導者が悪い。

△回れない

- 背中を丸められない
- ターン前に前を向く
- スピードを止めてしまう。

△ 壁をけれない

- 回転を正確にできない。
- 回転中に目を瞑っている。
- 壁との距離をコントロール出来ない。

△回れない

- 背中を丸められない
- ターン前に前を向く
- スピードを止めてしまう。
- その場で回っている

呼吸が必要であれば 横呼吸後にターン 陸上での「でんぐり返り」 頭の位置・背中の曲げる 謝る姿勢

立位から一回転 (360 度) と伏位からの回転 (270 度) の差異

その場で回る事の難しさ 揚力等の利用。

△ <u>壁をけれない</u>

- 回転を正確にできない。
- 回転中に目を瞑っている。
- 壁との距離をコントロール出来ない。
- 足がつかない・足が伸びきっている・ 片足しかつかない。
- その他

両手の均等のかき & 頭のつっこみ 回りきる(腹筋)

> 目を開ける意味 目線は?

壁へのタッチ&数合わせ

△ <u>その他</u>

出来ないこと、難しいことをすると 息を詰める。→鼻から水が入る。

出来なければならないという脅迫観念

壁に対する恐怖心

指導者恐怖症

今後の展開

- 指導者のアイデア・方法論等の蓄積。
- 蓄積したものを公開し、吟味する。水泳・水中運動情報センターの構築
- 水泳のサポーターの養成
- 様々な水泳・水中運動の情報発信
- より良い分かり易い 初心者水泳指導の完熟化













west rece



















